

■健康経営戦略マップ[°]

作成年：2026年9月

健康投資

生活習慣病対策	・特定保健指導の実施(40歳未満も含む) ・各種健診費用補助 ・スタンディングデスク等健康増進器具の設置 ・健康社食の設置 ・野菜配布会の実施
運動習慣対策	・スニーカー通勤奨励 ・スポーツクラブ利用補助 ・ウォーキング対抗戦(&well)、インセンティブの付与 ・クラブ活動への費用補助 ・身体測定・コンディショニング、運動指導イベントの実施
ヘルスリテラシー向上策	・健康セミナーの実施(&well) ・社内での各種研修実施、メルマガ等による情報発信 ・ヘルステータバンクによる健康状態の確認 ・常備薬の社内設置
禁煙フォロー施策	・医師による禁煙セミナーの実施 ・禁煙フォローアッププログラムの実施 ・全社禁煙デーの設定 ・禁煙外来受診費用補助
メンタルヘルス対策	・ストレスチェックの実施&高ストレス者のフォロー面談 ・ラインケア研修の実施 ・人事ヒアリング ・ヘルプラインの設置 ・産業医による健康相談・メンタルヘルスカウンセリング ・休職者の長期復職サポート&ファミリーヘルスクアサポート
社内コミュニケーション促進策 働き方改革の推進	・社内SNS(slack)の導入 ・社内コミュニケーションイベントの定期開催 ・適正な労働時間の管理徹底、PCシャットダウン ・在宅勤務制度 ・有給休暇取得奨励促進策

従業員の健康課題

喫煙習慣者比率	BMI不適正者比率 (肥満・痩せ)	血圧要医療者・予備群比率	食習慣適正者比率	心の健康
---------	----------------------	--------------	----------	------

健康投資の効果

健康投資施策の取組み状況に関する指標	従業員等の意識変容・行動変容に関する指標	健康関連の最終的な目標指標
健康診断(人間ドック)受診率 100% スニーカー通勤実施率 禁煙プログラム参加者数 &wellアクティブユーザー率	健康診断再検査受診率の向上 特定保健指導実施率の向上 良い運動習慣者比率の向上 良い食事習慣者比率の向上 → 特定保健指導対象者率の減少	生産性向上 ・アブゼンティーズムの低減 ・プレゼンティーズムの低減
ラインケア研修受講率 ストレスチェック受検率 長時間労働者数(法定時間外労働者延べ人数) 年次有給休暇取得率	睡眠十分者比率の向上 ヘルスリテラシーの向上 労働時間の減少 年次有給休暇取得率の向上(80%以上を維持) → ストレスチェック「総合健康リスク指数」の維持・向上 → 休職者・離職者の減少	ワークエンゲージメントの向上 喫煙習慣者比率の低減

健康経営の浸透状況

経営トップからの推進方針や目標の発信 健康経営 理解・実施度調査

方針実現のための体制・環境

担当役員・推進責任者の設置 外部専門家(健康経営コンサル・産業医)との活用・連携 経営層での議論など、企業横断的な健康経営の検討・実施

健康風土の醸成

サポート、組織的支援(POS)、WSC等

健康推進アプリの利用促進 職業性ストレス簡易調査票の「上司の支援・同僚の支援」
--

目標年：2030年

KGI	健康経営の目標	健康経営の推進方針	経営方針
アブゼンティーズ Δ1.0%以下 プレゼンティーズ Δ 90ポイント以上 ワークエンゲージメント 3.9ポイント以上 (5段階評価) 喫煙習慣者比率 10%以下	社員一人ひとりの心身の健康 心理的安全性の高い組織づくり (インクルージョン風土の醸成) 互いを尊重して生き生きと働き、個性・能力の発揮ができる環境 組織の活性化(ダイバーシティ&インクルージョン)	多様な人材(社員)が持てる力を最大限発揮するために、社員一人ひとりが心身ともに健康であることを目指す。	高品質なプロパティマネジメントを通じて、魅力ある賃貸住宅のあり方を創造し、快適な都市の住まいを実現する。

※POSとは、「自分は会社から支えられている」と従業員が感じている度合いを表す指標。

※WSCとは、職場における信頼関係や助け合いの風土を表す指標。